

高等学校・特別支援学校の耐震性能に係るリスト (H30 学校施設カルテベース)

別紙 1

学校番号	学校名	棟番号	棟名称		所有者	構造	階数	延べ面積 (カルテ)	建築年	耐震基準	診断	補強	耐震性能	IS値	公表		施設台帳		用途	耐震診断または耐震補強の内容									
			学校メイン名	施設台帳名											ホームページ	文科省報告	棟番号	種別		用途	診断実施又は補強計画策定の年度	地盤種別	基本耐震指標値 Es	地形指標 CG	構造耐震判定指標 ET①	構造耐震判定指標 ET② (Gi=1.0)	重要度係数 Ci	IS/ET①	IS/ET②
74	浜松湖南	1	管理棟	管理棟	県	RC	2	1,011.38	1983/3/22	新	-	-	I a	-	○	○	001	-	(2)	ク	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	2	昇降所棟	昇降場棟	県	RC	2	376.09	1983/3/22	新	-	-	I a	-	○	○	002	-	(2)	サ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	3	特別教室棟	特別教室棟	県	RC	4	2,803.94	1983/3/22	新	-	-	I a	-	○	○	003	-	(2)	ク	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	4	普通教室棟	普通教室棟	県	RC	3	3,186.35	1983/3/22	新	-	-	I a	-	○	○	004-1 004-2	004-3	(1)	イ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	5	部室器具庫	(記載なし)	県	RC	2	268.80	1983/3/22	新	-	-	I a	-	○		005	-	(5)	ナ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	6	自転車置場	自転車置場	県	S	2	945.90	1983/3/22	新	-	-	I a	-			-	-	(2)	チ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	7	ポンプ室	ポンプ室	県	RC	1	25.31	1983/3/22	新	-	-	I a	-			-	-	(5)	ニ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	8	倉庫 1	プロパン庫	県	RC	1	8.23	1983/3/22	新	-	-	I a	-			006	-	(5)	ナ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	9	器具庫	-	県	RC	4	8.09	1983/3/22	-	-	-	未掲載	-			-	-			-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	10	理科棟	理科教室棟	県	RC	3	1,912.77	1984/3/1	新	-	-	I a	-	○	○	008-1	008-2	(2)	ク	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	11	体育館	体育館	県	S	2	2,541.83	1984/3/1	新	-	-	I a	-	○	○	009-1	-	(1)	イ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	12	体育館渡り廊下	廊下	県	RC	2	64.42	1984/3/1	新	-	-	I a	-	○	○	009-2	-	(2)	コ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	13	プール更衣室	(記載なし)	県	S	1	81.57	1985/3/30	新	-	-	I a	-	○		010	-	(2)	シ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	14	プールポンプ室	ポンプ室	県	S	1	6.50	1985/3/30	新	-	-	I a	-			011	-	(5)	ニ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	15	倉庫 2	倉庫	後援会	S	1	21.66	1987/3/31	新	-	-	I a	-			014	-	(5)	ナ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	16	部活基礎体力訓練室	トレーニングルーム (部活基礎体力訓練室)	後援会	S	1	90.00	1987/3/31	新	-	-	I a	-			013	-	(2)	ト	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	17	艇庫	艇庫	後援会	S	1	103.93	1988/5/1	新	-	-	I a	-			015	-	(2)	チ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	18	部室物干し場	-	後援会	その他	1	23.70	1991/4/1	新	-	-	I a	-			-	-	(2)	ケ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	19	ゴミ置き場	-	県	RC	4	4.28	-	-	-	-	未掲載	-			-	-			-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	20	ボンベ庫北	-	県	S	1	2.00	2011/11/22	新	-	-	I a	-			-	-	(5)	ニ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	21	ボンベ庫南	-	県	S	1	2.50	2011/11/22	新	-	-	I a	-			-	-	(5)	ニ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	22	合併処理槽	-	県	RC	1	122.24	1983/3/22	新	-	-	I a	-			-	-	(5)	ニ	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	23	ダッグアウト 1	-	県	CB	1	22.50	1983/3/31	新	-	-	I a	-			-	-	(2)	ト	-	-	-	-	-	-	不明	-	-
74	浜松湖南	24	ダッグアウト 2	-	県	CB	1	22.50	1983/3/31	新	-	-	I a	-			-	-	(2)	ト	-	-	-	-	-	-	不明	-	-

学校番号	学校名	棟番号	棟名称		所有者	構造	階数	延べ面積	建築年	耐震基準	診断	補強	耐震性能	IS値	公表		施設台帳		用途		耐震診断または耐震補強の内容								
			(カルテ)	県ホームページ				文科省報告							棟番号	種別	用途	診断実施又は補強計画策定の年度	地盤種別	基本耐震指標値Es	地形指標CG	構造耐震判定指標ET①	構造耐震判定指標ET②(Ci=1.0)	重要度係数Ci	IS/ET①	IS/ET②			
																											学校メイン名称	施設台帳名称	
74	浜松湖南	25	砂置場	—	県	RC	1	28.88	1983/2/10	新	—	—	I a	—			—	—	(5)	ナ	—	—	—	—	—	—	不明	—	—
74	浜松湖南	26	物置 1	—	その他	S	1	9.18	2017/2/2	新	—	—	I a	—			—	—	(5)	ナ	—	—	—	—	—	—	不明	—	—
74	浜松湖南	27	物置 2	—	後援会	S	1	9.90	不明	新	—	—	I a	—			—	—	(5)	ナ	—	—	—	—	—	—	不明	—	—
74	浜松湖南	28	物置 3	—	後援会	S	1	9.90	2004/7/16	新	—	—	I a	—			—	—	(5)	ナ	—	—	—	—	—	—	不明	—	—
74	浜松湖南	29	物置 4	—	後援会	S	1	9.90	2004/7/16	新	—	—	I a	—			—	—	(5)	ナ	—	—	—	—	—	—	不明	—	—
74	浜松湖南	30	物置 5	—	後援会	S	1	3.50	2013/2/13	新	—	—	I a	—			—	—	(5)	ナ	—	—	—	—	—	—	不明	—	—

表 1 各ランク別の耐震性能と判定基準

ランク	東海地震に対する耐震性能		建築物の構造	本県独自の判定基準		
		備考欄		旧基準の建築物 ( $C_1$ :重要度係数)	新基準の建築物 ( $I$ :用途係数)	
I	I a	耐震性能が優れている建物。軽微な被害にとどまり、地震後も建物を継続して使用できる。	災害時の拠点となりうる施設	R C S S R C C B	$I_s / E_T \geq 1.0$ ( $C_1=1.25$ )	I=1.25
	I b	耐震性能が良い建物。倒壊する危険性はないが、ある程度の被害を受けることが想定される。		R C S S R C C B	$I_s / E_T \geq 1.0$ ( $C_1=1.0$ )	
II		耐震性能がやや劣る建物。倒壊する危険性は低いが、かなりの被害を受けることも想定される。	建物の継続使用の可否は、被災建築物応急危険度判定や、「大規模地震発生直後に施設管理者等による緊急点検に係る指針(内閣府平成27年2月策定)」を参考に施設管理者が確認し、判断する。	R C S S R C C B	$I_s / E_T < 1.0$ かつ $I_s \geq 0.6$	0.7 ≤ 総合評点 < 1.0
				W	1.0 ≤ 総合評点 < 1.5	
III		耐震性能が劣る建物。倒壊する危険性があり、大きな被害を受けることが想定される。		R C S S R C	$I_s / E_T < 1.0$ かつ $I_s < 0.6$	総合評点 < 0.7
				W		

(注) 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)の中高層建築物の県営住宅は、地盤が良好で公営住宅建設事業者等連絡協議会の耐震診断マニュアルで安全性が確認できればランクI bとする。

別表第6(耐震改修促進法告示第184号)

構造耐震指標及び保有水平耐力に係る指標		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
(1)	$I_s$ が 0.3 未満の場合又は $q$ が 0.5 未満の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
(2)	(1)及び(3)以外の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
(3)	$I_s$ が 0.6 以上の場合で、かつ、 $q$ が 1.0 以上の場合	地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
この表において、 $I_s$ 及び $q$ は、それぞれ次の数値を表すものとする。		
$I_s$ 各階の構造耐震指標		
$q$ 各階の保有水平耐力に係る指標		

用語説明

指標値等	
耐震性能	建築物が保有する地震に抵抗する能力
構造耐震指標 (I <sub>s</sub> 値)	建築物が保有する耐力を表わす指標 (耐震診断で算定)
静岡県の耐震判定指標値 (E <sub>T</sub> 値)	東海地震に対して安全性を確保するための建築物が保有する耐力の目標値 $E_T = E_S \times C_1 \times C_G$ E <sub>S</sub> : 基本耐震指標値 C <sub>G</sub> : 地形指標 がけ地等の場合 1.25 その他の場合は 1.0
用途係数 (I)	建築物の用途により地震力を割り増す係数 I=1.25 の場合 ランク I a I=1.0 の場合 ランク I b
建築物の重要度係数 (C <sub>1</sub> )	地震による建築物の破壊を抑える程度を表わす係数 C <sub>1</sub> =1.25 の場合 地震時に軽微な被害にとどめ 継続使用を可能とする C <sub>1</sub> =1.0 の場合 地震時に倒壊せずある程度の 被害にとどめる
総合評点	木造建築物が保有する耐力を表わす指標 (耐震診断で算定)
建築物の構造	
R C	鉄筋コンクリート造 (鉄筋コンクリート造の中には、県営住宅で採用されている特殊な構造として、壁式鉄筋コンクリート造(WRC)と壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPC)がある)
S	鉄骨造(軽量鉄骨を使用する場合は軽量鉄骨造(LS)とする)
S R C	鉄骨鉄筋コンクリート造
C B	コンクリートブロック造
W	木造